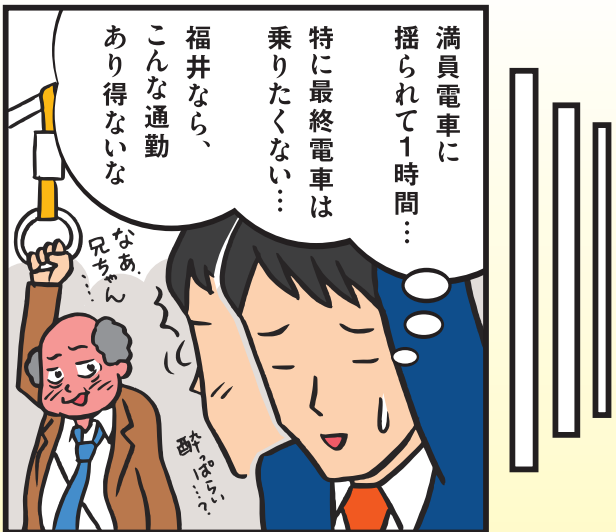


福井Uターン物語

あらすじ

東京の企業で働く有賀俊平と早紀の夫妻は、仕事のやりがいや子育てをきっかけに、福井へUターンします。この物語はフィクションですが、できるだけリアルに、東京、福井の暮らしを紹介していきます。

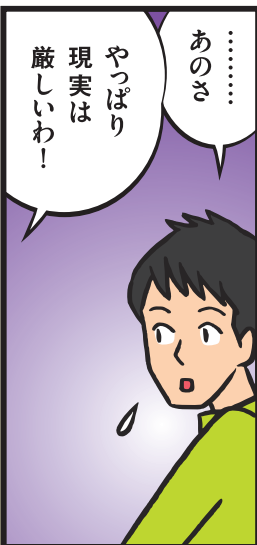
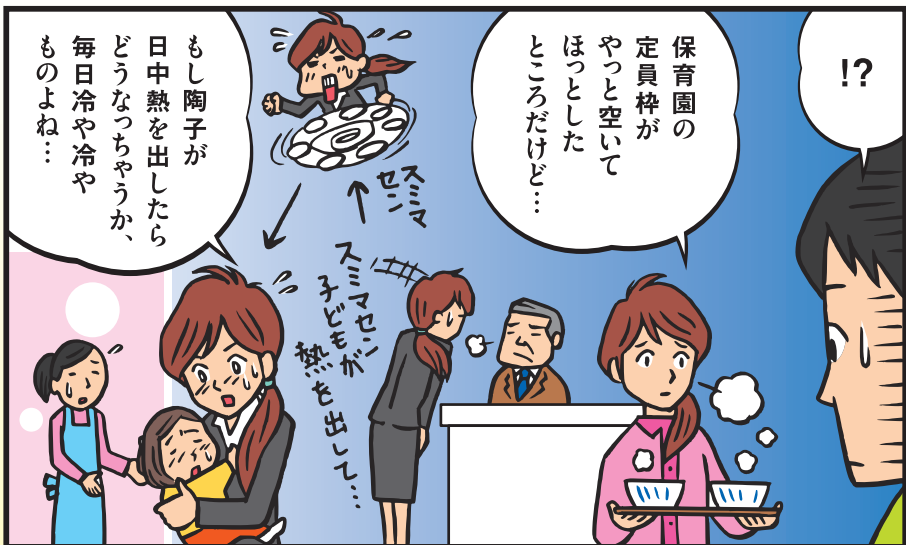
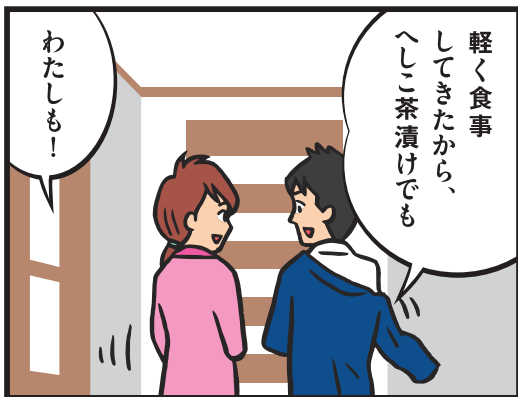
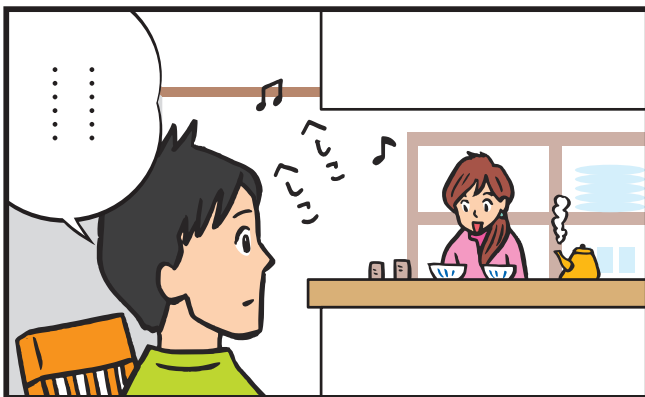
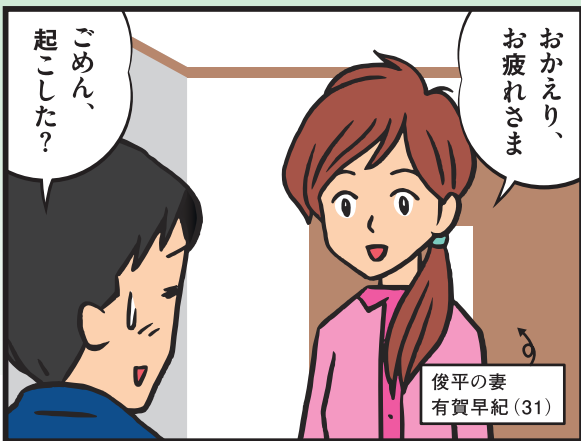
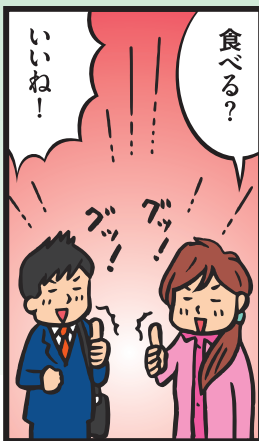




有賀俊平（33歳）：福井市出身。東京の中堅商社勤務。「いつかは福井に戻ることを思い描き、アジア日本の技術導入を進めるプロジェクトを担当。「有賀だけに、ありがたそうといわれる人物になりたい」がモットー。

第2章 ふたりの決断

俊平・早紀は賃貸マンション暮らし
郊外なのに家賃10万円……



有賀早紀（31歳）：関東出身。俊平と大学のサークルで知り合い結婚。理系専攻で、東京の中堅化学メーカーの研究員。2年前に長女（陶子）を出産。育児後、すぐに研究員に復帰。好きな食べ物は、へしこ。俊平に教えてもらった。

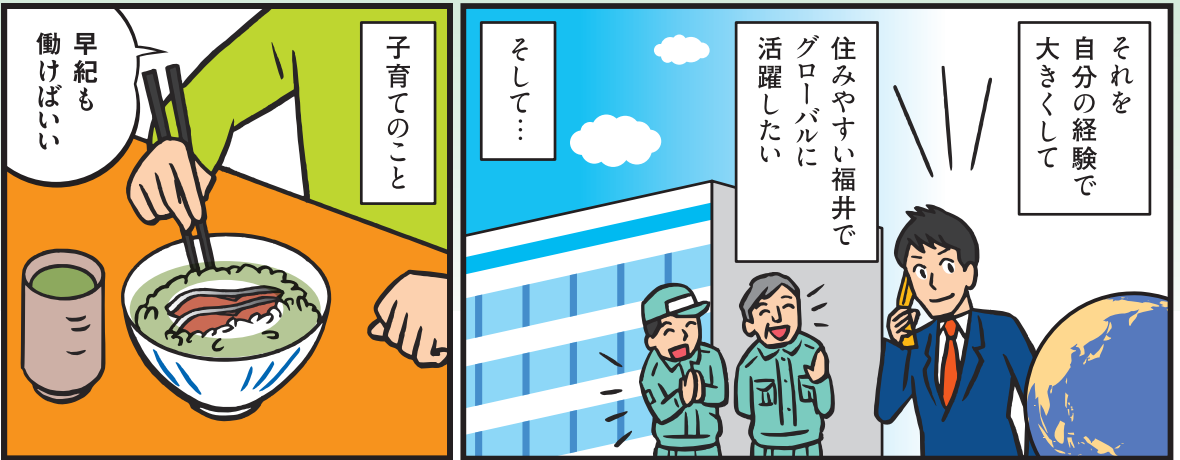
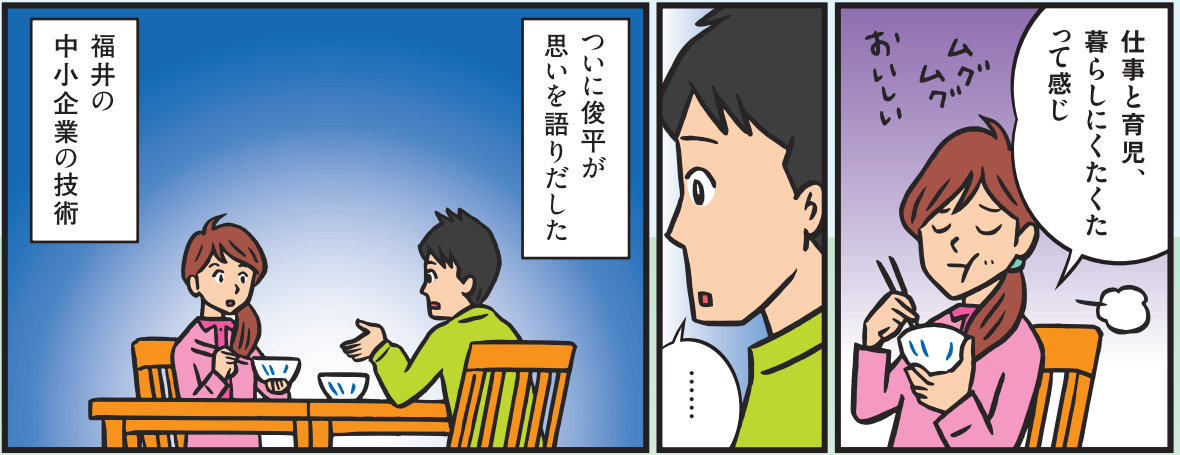
登場人物



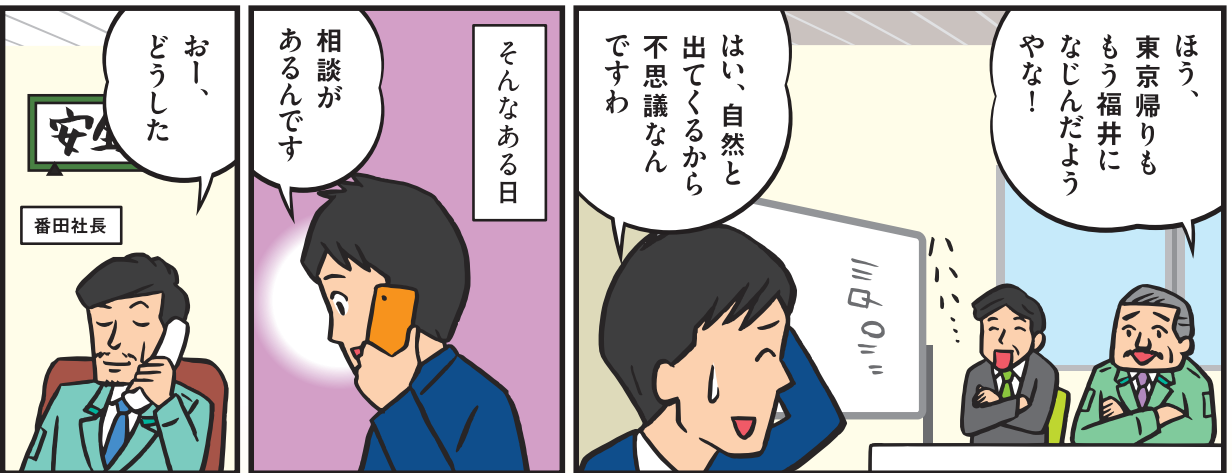
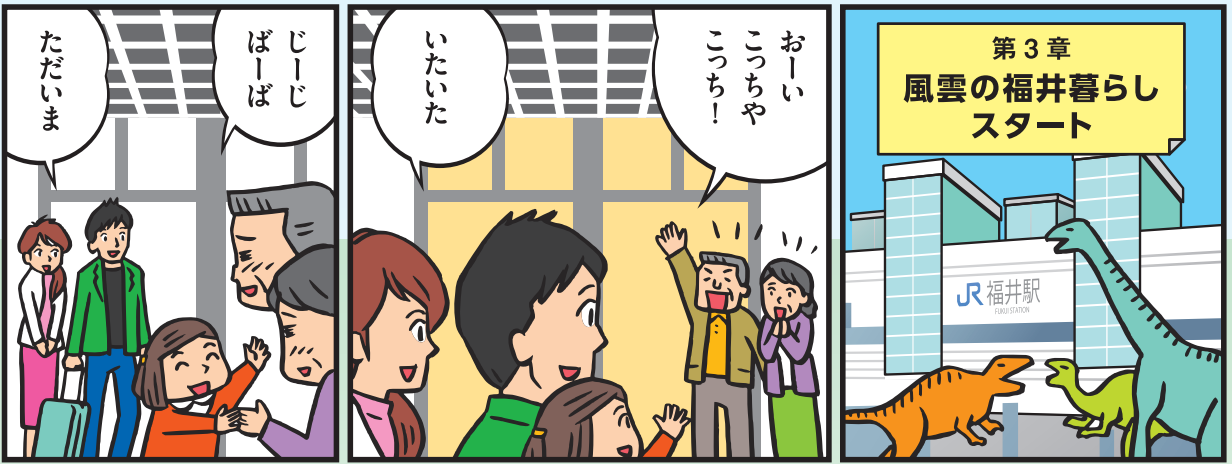
番田創一郎(48歳)：東京下町にある番田鉄工の社長。中小企業ながら、織維機械メーカーとして名をはせる。俊平が懐の深さにはれ込んでいた。俊平に「Uターンを」とすすめ、福井の織維メーカーを紹介する。

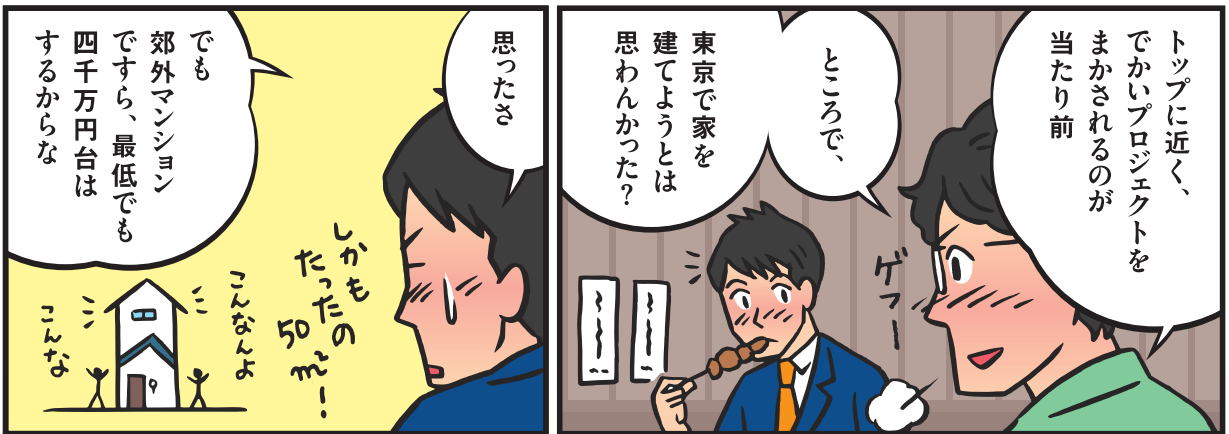
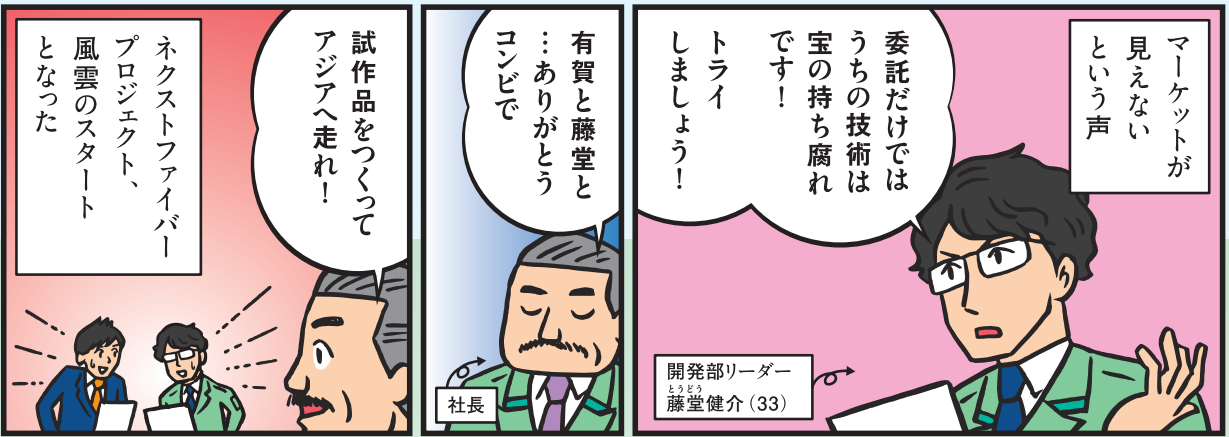


藤堂健介(33歳)：俊平の再就職先である、福井産機の開発部リーダー。俊平と組んで、「ネクストフューチャープロジェクト」を立ち上げる。良き相棒。有賀+藤堂で、「ありがとコンビ」と呼ばれる。

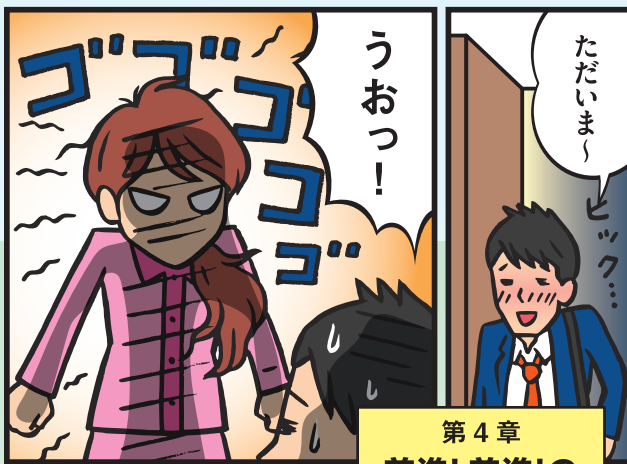


第3章
風雲の福井暮らし
スタート

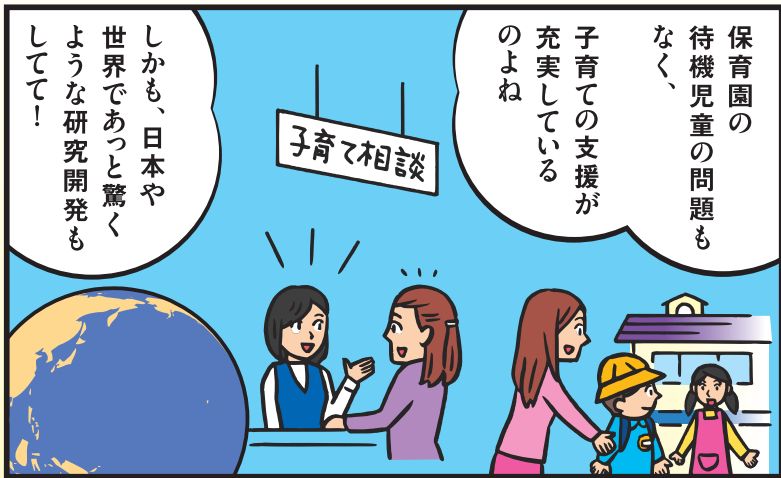
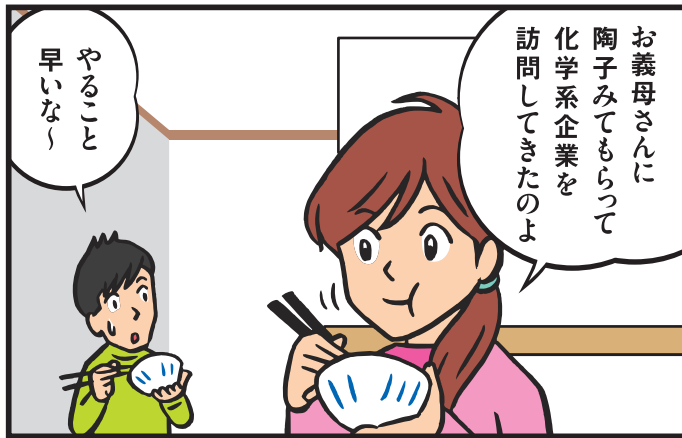
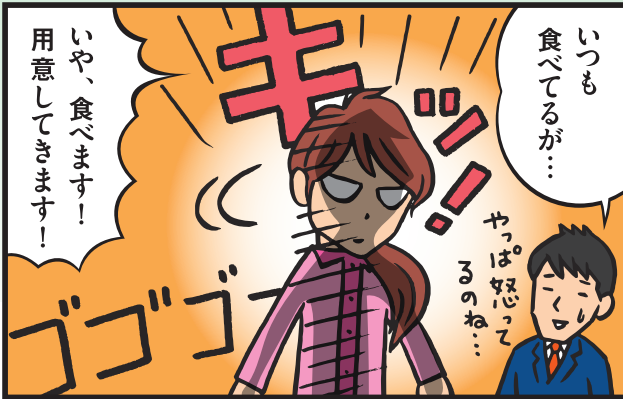


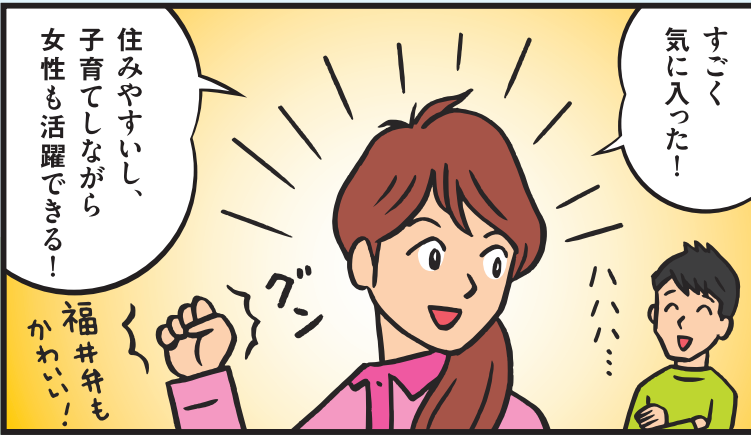


※1「ライフデザイン設計書」福井と東京のライフデザイン比較を参照



第4章
前進! 前進!
福井暮らし





住みやすいし、子育てしながら女性も活躍できる！

福井弁もかわいい！

すごく気に入った！

ハハハ...



それって僕が説明したことやね

ところで福井には慣れた？



それは大丈夫！

うらもそうしてきた！

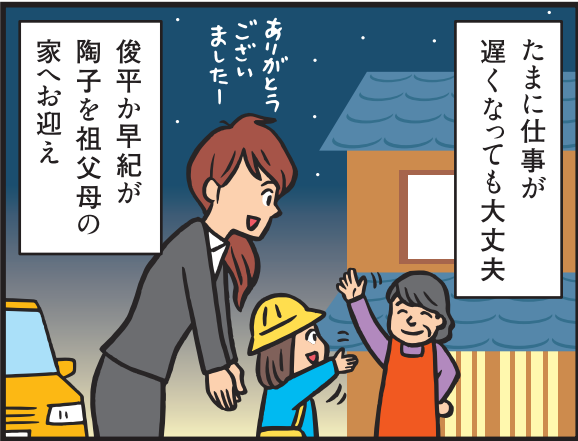
共働きの県、福井の人らやで！



よし、みんなでこれからの生活の大家族会議だ！

サポーターになてくれるかしらね？

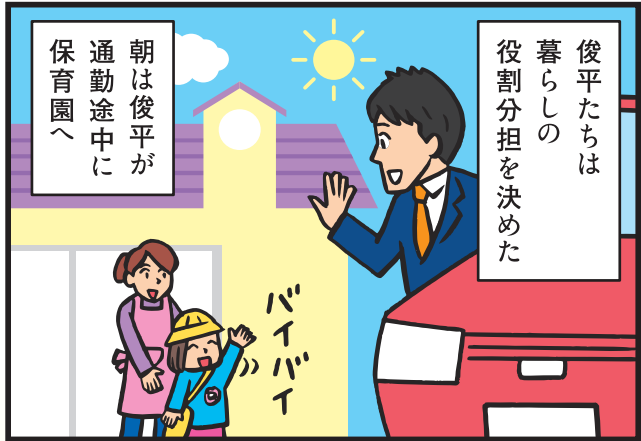
お義父さんに相談しなごや



たまに仕事が遅くなっても大丈夫

ありがたうございましてー

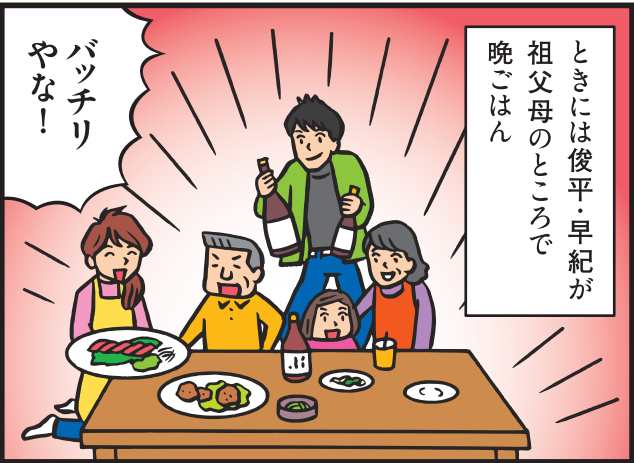
俊平か早紀が陶子を祖父母の家へお迎え



俊平たちは暮らしの役割分担を決めた

朝は俊平が通勤途中に保育園へ

バイバイ

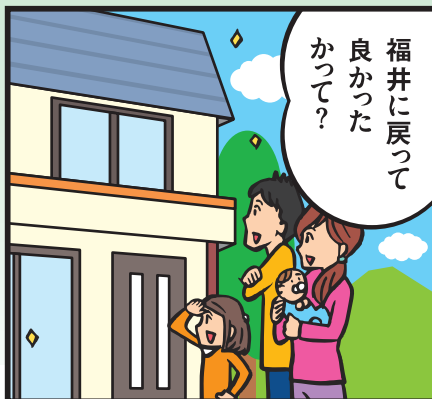


ときには俊平・早紀が祖父母のところでおごはん

バツチリやな！



週末は、家族で公園で遊んだり近場の海や山へおでかけ



● このコミックについてのお問い合わせ ●

福井県総合政策部ふるさと県民局若者・定住支援課

福井市大手3丁目17番1号 Tel.0776-20-0387 wakatei@pref.fukui.lg.jp

福井の企業情報は



ライフデザイン設計書の詳細は [ふくい暮らし検索](#)